

# ボランティアスキルアップセミナーPART2

## ★事業の概要★

### 事業のねらい

ボランティアとしての基本的な事項を学び、子どもの体験活動を通して、ボランティア活動における実践力を養う

### 期 日

1回目 平成23年1月22日(土)～1月23日(日)  
2回目 平成23年1月28日(金)～1月30日(日)

### 会 場

国立大雪青少年交流の家

### 対 象 者

ボランティア：高校生以上の青年  
子ども：小学校4年生～6年生 ※2回目のみ

### 参加者数：参加集人数

ボランティア のべ35名(内訳 高校生3人 大学生23人 一般9人)：20名  
子ども 54名：60名

### 講 師

太田 稔 氏(環境共育事務所 うてきあに) ※2回目のみ  
国立大雪青少年交流の家職員

### 日 程

【第1回】 1300 1330 1500 1645 1700 1730 1900 2100 2200

1/22 (土)			受付	開 会 式	①企画の勘どころ	②企画の実際1	休 憩	つ ど い	夕 食 ・ 休 憩	③ナイトプログラムの実際	入 浴	休 憩
7:15 7:30 9:00 1200 1300 1500												
1/23 (日)	つ ど い	朝 食	④企画の実際2	昼 食 ・ 休 憩	⑤企画の実際3	解 散						

【第2回】 1900 2100 2200

1/28 (金)					受 付	⑥演習1		入 浴	休 憩				
7:15 7:30 9:00 1200 1330 1645 1700 1730 1900 2000 2100													
1/29 (土)	つ ど い	朝 食	⑦演習2	昼 食 ・ 休 憩	⑧演習3		休 憩	つ ど い	夕 食 ・ 休 憩	⑨演習4	入 浴	休 憩	就 寝
7:15 7:30 9:00 1215 1300 1430													
1/30 (日)	つ ど い	朝 食	⑩演習5	昼 食 ・ 休 憩	⑪参加者ふりかえり		解 散						

# ★プログラム紹介★



## ①「企画の勘どころ」

太田稔氏の指導の下、企画の立て方やその注意点、アイスブレイクの手法等について学びました。



## ②「企画の実際3」

次週に控えた子ども事業のプログラムを、グループ毎に相談し発表し合いながら決定しました。



## ③「演習1」

翌日に控えた子ども事業に向けて、プログラムの内容や担当の確認をしました。



## ④「演習3」

雪積み競争や雪中鬼ごっこなどのレクを実施し、グループ内の交流を深めました。



## ⑤「演習4」

夜は、グループ毎にスノーキャンドルを作り、神秘的な世界を体感しました。



## ⑥「演習5」

スノーシューを履いて森の中に繰り出し、フィールドビンゴや森の中の散策を体験しました。

## 企画・運営のポイント

- ① 事業の企画立案から運営までの流れを体験できるよう、1回目、2回目のつながりを大切にしながらプログラムを構成した。
- ② 積雪の多い当施設の冬のフィールドを最大限生かせるようプログラムを組み立てた。
- ③ ボランティアには子ども達に接してもらうために、子ども事業の運営は交流の家職員が担当した。また、子ども達の受け入れ時には1人一役担当し、受け入れがスムーズにいくように工夫した。

## 事業を終えて(成果と課題)

- ① 太田稔氏からの学びを子ども事業につなげることによって、企画の仕方から当日までの準備、運営までの流れを体験してもらうことができた。
- ② 様々な職種・校種からの参加があり、参加者同士が多くの情報を交換し、ネットワークの輪を広げることができた。また、ボランティアには子ども達と接することへの喜びや楽しみを感じてもらうことができた。
- ③ 子ども達との接し方の具体的なスキルを学べるプログラムを設定するとともに、子どもに対する指導基準を明確にしていく必要がある。

## 今後の方向性

新しいボランティアの発掘のため、新年度当初から大学等に出向いて広報活動をしていくと同時に、当施設でのボランティアの経験を生かし各団体でのボランティア活動に自信を持って取り組めるよう支援していく。